

最上川水系流域委員会規約

第1条（趣 旨）

この規約は、「最上川水系流域委員会」（以下「委員会」という。）の設置について必要な事項を定める。

第2条（目 的）

この委員会は、最上川水系の河川整備計画原案について検討するとともに、計画策定後の各種施策の進捗等に関して意見を交換し、東北地方整備局長及び山形県知事に対し意見を述べるものとする。

また、最上川水系の大臣管理区間の河川整備計画に基づく事業のうち、再評価、事後評価の対象事業の評価を行い、東北地方整備局長に対し意見を述べるものとする。

第3条（組織等）

委員会は、東北地方整備局長及び山形県知事が設置・運営する。

- 委員会の委員は、最上川流域に関し学識経験を有する者のうちから、東北地方整備局長及び山形県知事が委嘱する。
- 委員会は、委員総数の二分の一以上の出席をもって成立する。なお、委員の代理出席は原則として認めない。
- 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

第4条（委員長）

委員会に委員長をおくこととし、委員の互選によりこれを定める。

- 委員長は委員会の運営と進行を総括する。
- 委員長は、副委員長を委員の中から指名する。
- 委員長に事故があった場合には、副委員長がその職務を代行する。

第5条（専門委員会）

最上川水系の大臣管理区間の河川整備計画に基づく事業のうち、評価（再評価、事後評価）対象事業の対応方針（原案）を審議するため、委員会に専門委員会を設置する。

第6条（地区別小委員会）

地域の特性を十分に計画に反映させるため、委員会に地区別小委員会を設置する。

- 地区別小委員会の規約については別途定め、委員会の承認を得る。

第7条（運営等）

委員会は、委員長が召集する。

- 2 委員会での議決は、委員総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長が決するところによる。

第8条（公開）

委員会の公開方法については委員会で定める。

第9条（事務局）

委員会の事務局は、国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所及び山形県土木部におく。

第10条（規約の改正）

本規約の改正は、委員総数の三分の二以上の同意を得てこれを行う。

第11条（雑則）

この規約に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則（施行期日）

この規約は、平成12年 3月 8日より施行する。

平成16年 3月10日一部改正

最上川水系流域委員会規約（改正案）

第1条（趣 旨）

この規約は、「最上川水系流域委員会」（以下「委員会」という。）の設置について必要な事項を定める。

第2条（目 的）

この委員会は、最上川水系の河川整備計画**変更原案及び**計画策定後の各種施策の進捗等に関して意見を交換し、東北地方整備局長及び山形県知事に対し意見を述べるものとする。

また、最上川水系の大臣管理区間の河川整備計画に基づく事業のうち、再評価、事後評価の対象事業の評価を行い、東北地方整備局長に対し意見を述べるものとする。

第3条（組織等）

委員会は、東北地方整備局長及び山形県知事が設置する。

- 委員会の委員は、最上川流域に関し学識経験を有する者のうちから、東北地方整備局長及び山形県知事が委嘱する。
- 委員会は、委員総数の二分の一以上の出席をもって成立する。なお、委員の代理出席は原則として認めない。
- 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

第4条（委員長）

委員会に委員長をおくこととし、委員の互選によりこれを定める。

- 委員長は委員会の運営と進行を総括する。
- 委員長は、副委員長を委員の中から指名する。
- 委員長に事故があった場合には、副委員長がその職務を代行する。

第5条（地区別小委員会）

地域の特性を十分に計画に反映させるため、委員会に地区別小委員会を設置**することができる。**

- 地区別小委員会の規約については別途定め、委員会の承認を得る。
- 地区別小委員会の結果は委員会に報告する。**

第6条（運営等）

委員会は、委員長が召集する。

- 委員会での議決は、委員総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長が決するところによる。

第7条（公開）

委員会の公開方法については委員会で定める。

第8条（事務局）

委員会の事務局は、国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所及び山形県土木部におく。

第9条（規約の改正）

本規約の改正は、委員総数の三分の二以上の同意を得てこれを行う。

第10条（雑則）

この規約に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則（施行期日）

この規約は、平成12年 3月 8日より施行する。

平成16年 3月10日一部改正

平成18年 8月24日一部改正

最上川水系流域委員会規約

第1条（趣 旨）

この規約は、「最上川水系流域委員会」（以下「委員会」という。）の設置について必要な事項を定める。

第2条（目 的）

変更原案及び

この委員会は、最上川水系の河川整備計画原案について検討するとともに、~~計画策定後の各種施策の進捗等~~に関して意見を交換し、東北地方整備局長及び山形県知事に対し意見を述べるものとする。

また、最上川水系の大臣管理区間の河川整備計画に基づく事業のうち、再評価、事後評価の対象事業の評価を行い、東北地方整備局長に対し意見を述べるものとする。

第3条（組織等）

委員会は、東北地方整備局長及び山形県知事が設置~~→~~運営する。

- 委員会の委員は、最上川流域に関し学識経験を有する者のうちから、東北地方整備局長及び山形県知事が委嘱する。
- 委員会は、委員総数の二分の一以上の出席をもって成立する。なお、委員の代理出席は原則として認めない。
- 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

第4条（委員長）

委員会に委員長をおくこととし、委員の互選によりこれを定める。

- 委員長は委員会の運営と進行を総括する。
- 委員長は、副委員長を委員の中から指名する。
- 委員長に事故があった場合には、副委員長がその職務を代行する。

~~第5条（専門委員会）~~

~~最上川水系の大臣管理区間の河川整備計画に基づく事業のうち、評価（再評価、事後評価）対象事業の対応方針（原案）を審議するため、委員会に専門委員会を設置する。~~

5

~~第6条（地区別小委員会）~~

地域の特性を十分に計画に反映させるため、委員会に地区別小委員会を設置~~する。~~することができる。

- 地区別小委員会の規約については別途定め、委員会の承認を得る。
- 地区別小委員会の結果は委員会に報告する。

6

第7条（運営等）

委員会は、委員長が召集する。

- 2 委員会での議決は、委員総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長が決するところによる。

7

第8条（公開）

委員会の公開方法については委員会で定める。

8

第9条（事務局）

委員会の事務局は、国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所及び山形県土木部におく。

9

第~~10~~条（規約の改正）

本規約の改正は、委員総数の三分の二以上の同意を得てこれを行う。

10

第~~11~~条（雑則）

この規約に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則（施行期日）

この規約は、平成12年 3月 8日より施行する。

平成16年 3月10日一部改正

平成18年 8月24日一部改正